

明日への扉

No.4



Hideki Etou

江藤 秀樹さん

昭和63年大始良中学校卒業、平成3年鹿屋工業高校卒業。平成10年に江藤電気を設立後、平成14年に申良町細山田に転居。「地域おこし戦隊 細山ライ田一」隊長
(42歳)

夏祭りの時の感謝の言葉が

地域おこし活動の原動力



去年の夏祭り終了後に細山ライ田一隊員が、達成感を味わいながらスタッフと一緒に撮った写真です。今後も隊員一丸となり熱く、楽しく活動していきますのでご期待ください。

私は横山町で育ち、高校卒業後に各地で電気関係の仕事に就いた後、平成10年に都城市で会社を設立しました。その後妻の実家がある串良町細山田の風土と人が気に入り、仕事と生活の拠点を細山田に移しました。

長女が幼稚園にあがったときに、細山田地区は私が育った大始良地区と比べ、子ども達の行事が少ないことに気づき「この子達が大人になったときに故郷をどう思うのかな」と感じるようになりました。

そこで、まず平成18年以来7年間途絶えていた地元の夏祭りを復活させる活動を開始。夏祭りを復活させるに当たって決めたことは、行政の補助や寄付に頼らない手作りの祭りにしようということでした。食べ物などの販売をチケット制にして財源を確保し、ボランティアや地元企業、学校の皆さんの協力で会場設営や準備を行いました。

手作りということで大変苦労はしましたが、終わってみれば約2,000人の来場者が訪れ、大成功を収めることができました。そしてその時来場者から頂いた「祭りを復活してくれてありがとう」という言葉が、今の地域おこ

し活動の原動力となっています。

翌年の平成26年には、志を同じくするメンバーと一緒に地域おこしグループを発足し、グループの名前とキャラクターを小中学生に応募してもらい、その中から「地域おこし戦隊 細山ライ田一」と名付けました。

そしてグループの認知度を高めるために、AKB48のヒット曲「恋するフォーチュンクッキー」の細山田バージョンの製作、「細山ライ田一旗争奪野球大会」の開催などの活動を行ってきました。

中でもキャラクター募集のときから構想にあったご当地ヒーロー「ライダーカイモ」の製作では、キャラクターのデザインとコスチュームを細山田在住の人に製作していただき、活動に新たな幅を持たすことができました。

まだまだメンバーも少なく一つ一つの企画を行うことが大変ですが、地域の方々の笑顔を見られた時に、メンバー一同本当に達成感とやりがいを感じています。

今後も地域の皆さんの意見を聞いて、もっと密着した活動を行っていきたくです。そしていつの日か細山田が、たくさん子ども達の元気な声が響く地域になればと思います。